令和6年

第1回忠岡町議会定例会会議録

開会 令和6年2月27日

閉会 令和6年3月22日

忠岡町議会

令和6年 第1回忠岡町議会定例会会議録（第1日）

令和6年2月27日午前10時、第1回忠岡町議会定例会を忠岡町議会議事堂に招集した。

1. 出席議員は、次のとおりであります。

1番 河瀬 成利議員	2番 今奈良幸子議員	3番 北村 孝議員
4番 小島みゆき議員	5番 二家本英生議員	6番 是枝 綾子議員
7番 松井 匡仁議員	8番 三宅 良矢議員	9番 前川 和也議員
10番 尾崎 孝子議員	11番 勝元由佳子議員	12番 河野 隆子議員

1. 欠席議員は、次のとおりであります。

なし

1. 地方自治法第121条の規定により、本会議に出席を求めた者は、次のとおりであります。

町 長	杉原 健士	副 町 長	井上 智宏
教 育 長	富本 正昭	町長公室長	立花 武彦
町長公室次長兼企画人権課長		町長公室次長兼総務課長	南 智樹
	明松 隆雄	住民部長	谷野 栄二
住民部次長兼生活環境課長		健康福祉部長	泉元 喜則
	新城 正俊	産業まちづくり部長	村田 健次
教育部長	二重 幸生	教育部理事兼学校教育課長	
消 防 長	森下 孝之		石本 秀樹
消防次長兼消防予防課長	岸田 健二		

1. 本議会の職員は、次のとおりであります。

事務局長	柏原 憲一
主 査	酒井 宇紀

(会議の顛末)

議長（北村 孝議員）

おはようございます。

本日の出席議員は、全員出席でありますので、会議は、成立しております。

議長（北村 孝議員）

ただいまから、令和6年第1回忠岡町議会定例会を開会いたします。

議長（北村 孝議員）

これより、会議を開きます。

(「午前10時00分」開会)

議長（北村 孝議員）

会議に先立ちまして、令和6年1月1日に発生いたしました能登半島地震においてお亡くなりになられた方々に対しまして、謹んで哀悼の意を表し、黙祷をささげたいと存じますので、ご起立をお願いいたします。黙祷。

(黙 祷)

議長（北村 孝議員）

黙祷を終わります。ご着席ください。

議長（北村 孝議員）

本日の議事日程を事務局長より報告をさせます。

議会事務局（柏原 憲一局長）

議長。

議長（北村 孝議員）

事務局長。

議会事務局（柏原 憲一局長）

令和6年第1回忠岡町議会定例会議事日程（1日目）について、ご報告申し上げます。

日程第1	会議録署名議員の指名
日程第2	会期の決定
日程第3	諸般の報告
日程第4	令和6年度施政方針について
日程第5 議案第 1号	町道路線の認定について
日程第6 議案第 2号	専決処分の承認を求めることについて

(令和5年度忠岡町一般会計補正予算(第6号))

- 日程第7 議案第 3号 忠岡町教育委員会委員の任命について
- 日程第8 議案第 4号 忠岡町固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 日程第9 議案第 5号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 日程第10 議案第 6号 手数料条例の一部改正について
- 日程第11 議案第 7号 忠岡町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第12 議案第 8号 忠岡町町民運動場等設置及び管理条例の一部改正について
- 日程第13 議案第 9号 忠岡町地区集会所管理条例の一部改正について
- 日程第14 議案第10号 忠岡町霊園条例の一部改正について
- 日程第15 議案第11号 忠岡町介護保険条例の一部改正について
- 日程第16 議案第12号 令和5年度忠岡町一般会計補正予算（第7号）について
- 日程第17 議案第13号 令和5年度忠岡町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）について
- 日程第18 議案第14号 令和5年度忠岡町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について
- 日程第19 議案第15号 令和6年度忠岡町一般会計予算について
- 日程第20 議案第16号 令和6年度忠岡町国民健康保険事業勘定特別会計予算について
- 日程第21 議案第17号 令和6年度忠岡町介護保険特別会計予算について
- 日程第22 議案第18号 令和6年度忠岡町後期高齢者医療特別会計予算について
- 日程第23 議案第19号 令和6年度忠岡町下水道事業会計予算について
- 日程第24 報告第 1号 事務報告について（令和5年分）

以上のとおりでございます。

議長（北村 孝議員）

第1回忠岡町議会定例会の招集に当たり、町長より挨拶の申出があります。

発言を許します。

町長（杉原健士町長）

議長。

議長（北村 孝議員）

杉原町長。

町長（杉原 健士町長）

皆さん、おはようございます。

ご案内のように、令和6年第1回忠岡町議会定例会の開会を招集いたしましたところ、議員皆様方には公私何かとお忙しい中にもかかわらず、ご出席賜り、誠にありがとうございました。

先ほど黙祷もありましたけれども、今年1月1日に発生いたしました能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。今なお多くの方々が避難所での生活を余儀なくされており、一日でも早く元の生活に戻れるよう願うばかりであります。

本町におきましては、避難所での被災者支援を行うため、これまでに5名の職員を順次派遣いたしました。また、消防においても緊急消防援助隊として5名の消防隊員を順次派遣したところであります。今後もできる限りの支援を行ってまいりたいと考えております。

また、このたびの地震においても、災害発生直後の住民の安否確認、初期救助活動、情報の伝達など災害時における地域コミュニティの重要性が改めて指摘されております。災害発生時、行政ができることにも限りがございます。避難訓練等を通じて地域住民と手を携えながら災害に強いまちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

本定例会には、忠岡町教育委員会委員の任命議案、手数料条例の一部改正案や令和6年度一般会計予算及び特別会計予算を初め諸議案をご審議いただきますが、どうかご賛同、ご可決いただきますようお願い申し上げます。私のご挨拶と代えさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いたします。

議長（北村 孝議員）

日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第118条の規定によりまして、12番・河野隆子議員、1番・河瀬成利議員を指名いたします。

議長（北村 孝議員）

日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期、定例会の会期は、本日より3月22日までの25日間といたしたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

異議なしと認めます。

よって、会期は、3月22日までの25日間と決定をいたしました。

議長（北村 孝議員）

日程第3 諸般の報告を行います。

監査委員、河瀬成利議員より例月出納検査の結果報告の申出がありますので、発言を許します。

監査委員（河瀬 成利議員）

議長。

議長（北村 孝議員）

河瀬議員。

監査委員（河瀬 成利議員）

おはようございます。例月出納検査報告について報告いたします。

ここに、報告申し上げますのは、令和5年11月29日、12月26日、及び令和6年1月30日に行いました内容で、帳簿等は、令和5年10月31日、11月30日、及び12月31日現在であります。

検査については、前田成弘監査委員と従事し、一般会計、各特別会計及び下水道事業会計から提出された現金出納簿、公金収納状況、金融機関預金等については、その時点での確に執行されていることを確認し、また、関係諸帳簿、証拠書類も適正に記帳等されていることを確認いたしました。

なお、検査時における各会計別等現金高数値については、お手元に配布いたしました数値表のとおりでございます。

以上、地方自治法第235条の2第3項の規定により報告いたします。

監査委員、河瀬成利。

以上です。

議長（北村 孝議員）

これで、諸般の報告を終わります。

議長（北村 孝議員）

日程第4 令和6年度施政方針について、町長より所信表明の申出があります。発言を許します。杉原町長。

町長（杉原 健士町長）

本日、ここに令和6年忠岡町議会第1回定例会の開会にあたり、新年度に臨む私の所信の一端と施政の方針を申し述べ、議員各位のご賛同とあわせて住民皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

はじめに、1月1日に発生しました「令和6年能登半島地震」につきまして、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆様に、謹んでお悔やみを申し上げます。また、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復興を、心よりお祈り申し上げます。

あわせて、支援活動にご尽力されている皆様に、深く敬意を申し上げます。

今後も町としましては、大阪府内市町村とともに、町職員、消防職員の派遣などの支援を行ってまいり所存です。

さて、我が国では、これまで阪神淡路大震災をはじめ、東日本大震災、熊本地震、また、風水害では本町にも大きな被害を出した台風21号などが発災する中、様々な教訓を学び、備えてまいりました。

しかしながら、近年の予想を超える自然の猛威を前に、これまでの備えで対応しきれない状況もみられています。

そのような中であって、私は、被害を最小限に防ぐには、常に危機意識をもち、備えに対する日頃からの点検や訓練を積み重ねることが、非常に重要な点と認識しております。

今後、必要な備えなどについては、予算出動なども含め積極的に対策を講じるとともに、これまで以上にスピード感をもちながら、住民皆様の生命・財産を守ってまいり決意です。

なお、令和6年度には、災害発生時における要支援者に対する支援を図るため、避難行動要支援者名簿及び個別避難計画策定の推進に向けたシステムを導入し、災害時における避難体制の確保にも努めてまいります。

次に4月から、住民皆様により質の高い行政サービスを提供するために、役場の組織機構の見直しを行います。

特に、未来を見据え、子育て支援の一層の強化を図るため、これまで3つの課にわたっていた、こども関連の事務を集約し、役場1階に「こども課」を新設いたします。これによって、こどもの情報を一元化し、切れ目なく子育てを支援するとともに、保護者にとってもわかりやすく、安心して相談できる環境の充実を図ってまいります。

また、新たにスマートフォン向けに「子育て支援アプリ」を導入いたします。これにより予防接種の日程管理、医療、健診やこどもの施設に係る情報を、一人ひとりのこどもに応じて適時、提供してまいります。

公民連携では、昨年2月に締結した「(仮称)地域エネルギーセンター等整備運営事業公民連携協定」に基づき、ごみ処理分野において民間事業者と連携した取り組みを進めた結果、ごみ中継施設の整備も順調に進んでおります。令和6年度も、引き続き、安全かつ安定的な廃棄物処理及び循環型社会形成のため、公民連携事業を着実に進め、ごみ処理経費の低減を図ってまいります。

にぎわいづくりでは、忠岡駅周辺の活性化を図るため、駅を中心とした指定範囲内の飲食店新規出店者に対する補助制度を創設いたします。

あわせて、健全な財政運営への取り組みについても、引き続き、意を用いる中、持続可能なまちづくりを推進する施策を展開してまいります。

令和6年度各会計の予算額につきましては、

一般会計 74億1,000万1,000円

各特別会計 42億5,350万6,000円

下水道事業会計 16億2,952万3,000円

合計いたしますと、132億9,303万円となり、これを前年度当初予算と比較いたしますと、一般会計11.0%減、各特別会計1.5%減、下水道事業会計5.0%減、合計7.4%減となりました。

以下、新年度における施策の概要についてご説明申し上げます。

第1は、子育てがしやすいまちであります。

～学校教育が充実したまちづくり～

こどもたちは、本町の未来であり、希望であります。忠岡町教育大綱を柱に、複雑多様化する教育課題へ、的確に対応しながら、豊かな人間性を育む教育行政を推進してまいります。

令和6年度は、新規事業として、小・中学校において、教員の様々な業務をサポートする教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）を配置し、教員のこどもと向き合う時間の確保とともに、教員の働き方改革を引き続き推進してまいります。

また、医療的ケアが必要な児童・生徒について、保護者の付添いがなくても安全・安心に学校で学ぶことができるよう、対象児童・生徒が在籍する学校に、引き続き、医療的ケア看護職員を配置してまいります。

読書活動の推進については、「第2次忠岡町子ども読書活動推進計画」を策定してまいります。

「あすなろ未来塾」については、引き続き、習熟の程度に応じた授業や集団個別指導を通じて、基礎・基本の確実な定着を図ります。

また、小・中学校に整備した通信ネットワークや1人1台のタブレット機器を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ってまいります。

英語教育では、検定受験料補助事業や英語をツールとした、さまざまな体験機会を提供するなど、国際社会で活躍するグローバル人材の育成に向け、今後も英語への興味・関心、活用を高めてまいります。

学校への支援では、学ぶ楽しさを育む推進事業、学力向上サポーター配置事業、少人数学級編制などによるきめ細やかな指導のための講師配置事業に取り組むとともに、小学校読書活動推進事業を継続して実施いたします。

生徒指導の充実につきましては、さまざまな課題の未然防止、早期発見、早期解決を支援するため、小学校におけるスクールカウンセラーの配置とともに、学校と福祉機関との連携を図るために、スクールソーシャルワーカーを引き続き配置してまいります。

また、忠岡町適応指導教室については、2名の校長経験者を指導員として配置し、より丁寧な支援を行うなど、引き続き学校への復帰を支援してまいります。

～切れ目のない子育て支援が充実したまちづくり～

令和6年度、町内民間2園を対象に保育士等の確保及び定着を図るため「忠岡町保育士応援給付金」を設置し、より一層の保育体制の確保と子育て支援の充実に努めてまいります。

「忠岡町子ども・子育て応援プラン2025（第3期子ども・子育て支援事業計画）」策定を行うとともに、各種事業の実施や、国による幼児教育・保育の無償化とあわせて、今後、より一層の子育て環境の充実に努めてまいります。

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、サポートブックの紹介や、妊娠期から出産・子育て期にわたる切れ目のない相談支援及び経済的支援を一体として継続的に取り組むほか、妊産婦健診に加え、不育症に悩む方への治療費助成を実施するとともに、多胎妊婦への支援を実施してまいります。

産後うつの予防などを図るため、出産直後の時期に産婦健康診査費の助成を行い、育児不安を抱え支援が必要な産婦に対して、委託医療機関において心身のケアや具体的な育児指導を行う産後ケア事業を実施します。

引き続き新生児聴覚検査の費用を負担し、聴覚障がいの早期発見を図るとともに、3歳6、7か月児健診において屈折検査機器を使用し、弱視の検出率向上に取り組むなど、母子保健に対する支援に努めてまいります。

昨年「東忠岡こども園」と地域子育て支援センター「ひだまり」がスタートし、こどもだけではなく、保護者も一緒に学び、育つための拠点施設が充実されたところです。今後、民間2園との連携を深めることで、忠岡町全体の乳幼児期における教育・保育の総合的な推進を図り、こどもたちの健やかな成長と遊びを通じた学びの環境を提供してまいります。

こども園・小学校間の交流につきましては、少子化・核家族化の中で就学前教育の重要性に鑑み、幼児教育・保育の提供と充実に努めるとともに、小学校生活へのスムーズな移行ができるよう努めてまいります。

町独自施策として町内就学前施設に在園している3歳から5歳までのこどもたちへの給食費無償化につきましては、保護者負担の軽減を図るため、引き続き実施してまいります。

留守家庭児童学級については、開所時間の延長も含め、より一層の子育て環境の充実に努めてまいります。

第2は、健康に暮らせるまちであります。

～誰もが暮らしやすいまちづくり～

高齢者福祉の充実については、令和6年度、高齢者の積極的な社会参加と健康増進に資するため、加齢性難聴に対する補聴器購入に助成を行ってまいります。

高齢化が進む中、団塊の世代すべてが75歳以上となる2025年が近づき、さらには、その先の団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年に向け、介護ニーズも増大

することが想定されることから、「第9期介護保険事業計画」及び「第10次高齢者福祉計画」に基づき、要介護状態になっても、高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・生活支援の充実を図ってまいります。

あわせて、さらなる「地域包括ケアシステム」の構築を推進するとともに、自立支援・重度化防止の取組推進や、認知症発症初期から適切な支援が行えるよう、相談体制の充実に努めてまいります。

また、「高齢者の特性を踏まえた保健事業と介護予防の一体的な事業」として、地域の集いに出向いての講座の開催や血圧等の測定、健康への相談支援など、人生百年時代を見据えた取り組みを行ってまいります。

障がい者・障がい児福祉については、「第4次障がい者計画」に基づき、誰もが互いに人格と個性を尊重し合い、理解し合いながらともに生きていく共生社会の実現に向けて取り組んでまいります。

また「第7期障がい福祉計画」及び「第3期障がい児福祉計画」を策定し、障がい福祉施策を推進するとともに、庁内関係部局をはじめ、社会福祉協議会などの町内機関、国・府機関などとの連携の強化を図ってまいります。

また、障がい者緊急時居宅確保事業を行うことで障がい者を介護する家族等の不安の解消に努めてまいります。

地域福祉の推進については、忠岡町社会福祉協議会と連携し、それぞれの地域で誰もがその人らしい、安心して充実した生活が送れるよう、地域社会を基盤とした地域福祉の充実、推進を図ってまいります。

～健康づくりを推進するまちづくり～

住民一人ひとりの健康寿命を延ばすため、保健センターを拠点とし、食習慣、運動習慣、喫煙等の生活習慣の改善に向けた、自主的な健康づくりや食育を推進してまいります。

新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、全額公費による特例臨時接種は本年3月31日で終了となり、令和6年度からは高齢者を対象とした定期接種となる予定です。国の動向を注視し準備を進めてまいります。

特定健診やがん検診については、受診率の向上を図るため、引き続き全国健康保険協会と合同での特定健診とがん検診を実施するとともに、日曜健診を実施いたします。

また、若年層、特に子育て世代の健診受診強化については、がん検診の推奨年齢対象者などに対して個別通知を行い、がんの早期発見、早期治療による健康の保持・増進に努めてまいります。また、「健幸まつり」を開催し、住民の健康増進や介護予防の啓発にも努めてまいります。

国民健康保険については、「大阪府で一つの国保」として、市町村とともに大阪府が財

政運営を担い、安定した財政運営が図られています。資格管理や保険料の賦課、保険給付、重症化予防の保健事業等においては、本町の実情を踏まえ、適切に対応してまいります。

第3は、生涯活躍できるまちであります。

～多様な価値観を尊重するまちづくり～

本町は、「非核平和宣言都市」として、核兵器は許さないとの姿勢を堅持し、全国の非核平和宣言都市と連携し、核兵器のない世界の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

人権施策については、忠岡町人権協会とともに、同和問題などの社会的差別、性差による差別など、あらゆる人権問題の解消に向けた啓発活動や研修、相談事業を推進してまいります。

誰もが活躍できる社会づくりの推進を図るため、「第2次忠岡町男女共同参画計画」に基づき、施策の推進に取り組んでまいります。

児童虐待やDVに関しては、DV支援コーディネーター等を配置する中、庁内での連携を図り、早期発見と再発防止を図ってまいります。また、「自殺対策計画」に基づき、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現のため、引き続き広報活動などに取り組んでまいります。

国際交流事業については、次代を担う子どもたちの国際的なコミュニケーション能力向上の支援を柱に、教育委員会とも連携しながら、中学生の友好都市派遣につきまして、派遣先校と調整を進めるとともに、Zoom等による学校間交流を図ってまいります。

～愛着がもてるまちづくり～

住民が主体となったまちづくり活動の促進及び協働のまちづくりについては、自治振興協議会との連携を図るとともに、引き続き、自治会の加入促進について支援してまいります。

また、住民自らが災害に備え、自らの命は自分で守る「自助」、地域住民で助け合う「共助」は、災害発生時における被害軽減に大きな役割を果たすことから、自主防災組織が主体となる訓練等の実施について引き続き支援を行うなど、地域防災力の向上をめざしてまいります。

防犯対策の推進については、地域安全見守り活動や青色防犯パトロールなど、地域をはじめ関係機関と連携する中、犯罪発生抑止の充実を図ってまいります。また、犯罪発生の抑止効果が認められている防犯カメラについては、自治振興協議会に対する防犯カメラ設置補助事業を継続いたします。

情報発信については、忠岡町公式ホームページや忠岡町公式LINEにおいて、防災情報をはじめ、健康、各種イベントなど、住民が必要とする情報発信強化に努めてまいります。

「だんじり祭」は、地車連合会、地元各町などが協力、連携することでさらなる賑わいを創出し、地域住民の力で継承していけるよう、支援を継続いたします。

国宝や重要文化財を所蔵している公益財団法人正木美術館については、内外に向けた魅力ある情報発信とともに、本町出身の方々とテーマイベントなどの支援を継続してまいります。

～生涯にわたって学べるまちづくり～

町民運動場につきましては、長年の課題であった水はけなどについて改善を図り、町内各種行事や各種イベントなどがスムーズに開催できるよう整備を進めているところです。

また、スポーツに真摯に取り組む児童及び学生アマチュアの方々を激励し、支援するために創設しております「忠岡町スポーツ振興奨励金」制度の周知を図り、引き続き、社会体育の一層の振興に寄与してまいります。

スポーツセンターについては、住民がスポーツを楽しみながら体力増進・健康保持といった、健全な生活習慣を確立できるようなプログラムを展開し、町の健康づくり事業とも連携した事業展開を図ってまいります。引き続き、安全で快適な施設環境を提供できるよう、努めてまいります。

文化会館については、文化会館運営委員会における検討事項を基に、前年度において、一部Wi-Fiの導入を実施し、利便性の向上を図ったところです。これまで以上に住民の文化的な交流の場として、誰もが利用できる生涯学習の拠点施設となるよう、引き続き、さまざまな改善を図ってまいります。

児童館については、魅力的で安全・安心なこどもの居場所となるよう、さまざまな教室等を継続して開催するとともに、貸し菜園を活用する等、住民と触れ合いながら学ぶ機会づくりも継続し、適切な運営に努めてまいります。

第4は、安心して暮らせるまちであります。

～災害に強いまちづくり～

能登半島地震では、想定を超える甚大な被害が発生しました。また、南海トラフ巨大地震発生の切迫性が高まってきており、いつ災害が発生してもおかしくない状況であります。

このような中、配慮を要する方の避難体制を確保するため、福祉部局も参画した避難行動要支援者支援事業検討チームを昨年末に立ち上げました。

先に述べました対象者の抽出や名簿の作成などのシステム導入とあわせて、個別避難計画の策定など、避難行動要支援者の支援促進について、一層の取り組みを進めてまいります。あわせて、災害発生時には正確かつ迅速な情報伝達を図るとともに、早め早めの避難の呼びかけや分散避難など、円滑な避難体制の構築に努めてまいります。

また、住民生活の基盤となる住宅の耐震化を促進するため、耐震補助制度についての啓発、窓口での相談、個別訪問に加え、木造住宅耐震リフォームの講演会・相談会を実施す

るなど、地震災害に強いまちに向けた取り組みを進めてまいります。

～安全に暮らせるまちづくり～

令和6年度、消防行政につきましては、大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、消防用資機材の整備をはじめ、各種訓練に取り組み、消防体制の強化を図ってまいります。

救急業務につきましては、救急車の適正利用やAEDの利活用について住民への周知を図り、救命率・社会復帰率の向上をめざします。

また消防団につきましては、団員の確保に努めるとともに、地域防災の要として、その特色を生かし、安全に暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

交通安全については、幅広い年齢層の方を対象とした交通安全教室を開催し、啓発活動を推進するとともに、交通ルールの遵守と正しいマナーの実践を促し、安全な交通社会の実現に努めてまいります。

通学路に関しては、忠岡町通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関が連携した合同点検の結果に基づいた対策を実施するとともに、子どもの安全見守り隊との連携を一層密にすることで、こどもたちの安全を図ってまいります。

また、自転車の安全対策としては、こどもと高齢者を対象とした、自転車用ヘルメット購入補助金交付事業の年齢を小学生以下から中学生以下へ拡充し、自転車を利用する方のヘルメット着用を促し、被害軽減につなげてまいります。

老朽化の進む町営住宅については、これまで、事業者に対してのヒアリングなどを実施してきたところです。引き続き、入居者の安全・安心を基本に、今後の在り方について検討してまいります。

消費者が安全で安心して豊かな生活を営むことができる社会を実現するため、今後も消費生活専門相談員による相談を行ってまいります。また、高齢者などの社会的弱者には地域の回覧板や出前講座などで啓発するとともに、ネット消費の低年齢化に係る課題については、学校を通じた消費者教育を行うなど、総合的な消費者支援を行ってまいります。

第5は、便利で生活しやすいまちづくりであります。

～人が集うまちづくり 町内移動がしやすいまちづくり～

人口減少や少子高齢化の中、引き続き、都市機能を住民が集まりやすい地域に維持・誘導し、暮らしやすく、コンパクトなまちづくりをめざしてまいります。

なお、本年3月より住民の利便性向上のため、最寄りの市区町村窓口で戸籍証明書などが取得できる広域交付及び住民票と印鑑証明書のコンビニ交付サービスをスタートしたところです。引き続き、利便性の向上について調査・研究してまいります。

～快適な都市基盤のまちづくり～

一般廃棄物の処理については、公民連携協定の締結を受け、令和6年4月から一般廃棄物中継事業が実施されます。あわせて、新たな廃棄物処理施設である「(仮称)地域エネ

ルギーセンター」の設計及び許認可の取得などに向けた実施協定を締結し、安全かつ安定的な稼働をめざして、事業者と協議を進めてまいります。

下水道事業については、現在、汚水整備の人口普及率は97.4%であり、今後も計画的に整備を進め、水洗化の向上に努めてまいります。

また、大雨による浸水被害の軽減を図るため、雨水管の整備を進めるとともに、雨水対策の根幹をなすポンプ場については、引き続き長寿命化対策を実施し、また、津波や豪雨などの浸水被害による機能不全を防ぐため、耐水化対策事業を実施するなど、安定した運転ができるよう、対策を図ってまいります。

公園の利活用については、公園が地域交流の場やにぎわいの場となるような取り組みができないか、引き続き調査・研究をしてまいります。

浜霊園につきましては、近年、全国的に少子化や埋葬に関する価値観の多様化により、お墓を取り巻く状況が大きく変化していることを受け、使用料・管理料の改定をはじめ、将来の墓地経営のあり方について検討を進めてまいります。

～環境へ配慮したまちづくり～

国際公約である「2050年カーボンニュートラル」では、温室効果ガス排出量削減に向けた、実効性のある取り組みが求められていることから、「第5次忠岡町地球温暖化対策実行計画」に基づき、再生可能エネルギーの導入や、公共施設における温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを行ってまいります。

また、令和5年3月に改定した「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、ごみの発生回避、排出抑制、再利用、再資源化の4R推進に努めるとともに、プラスチックごみ削減に向けて、住民や事業者にも周知を図るなど、引き続き取り組みを行ってまいります。

第6は、誰もが働きたくなるまちづくりであります。

～地域振興をめざしたまちづくり～

商工業の振興につきましては、忠岡町商工会と連携する中、引き続き、町の産業振興・支援を実施してまいります。

また、商工会をはじめ、関係各機関の特色を活かし、協同して施策の展開を図り、地域経済の健全な発展と住民生活の向上に貢献できるよう努めてまいります。

農業振興については、貸菜園の管理を適切に行うとともに、料理教室を通じて地産・地消と郷土料理の普及を行います。

また、農業委員会と連携して、町内遊休農地の解消に向けて努めてまいります。

水産業の振興については、忠岡漁業協同組合の大阪湾の水質保全活動や忠岡港でのイベントを通じて、美しく豊かな海の恵みである地元海産物に親しんでもらい、また、港のあるまちとしての魅力が増すよう取り組んでまいります。

～働きやすい環境のまちづくり～

就労支援については、就労に有効な資格取得に関する専門講座の開催、国家資格や技能

検定取得経費の助成及び新たに住民を正規雇用する町内事業者への補助を継続してまいります。

また、障がい者の就労支援においては、就労継続支援B型事業所などに対し、図書の清拭などの軽作業を発注しておりますが、今後も事業所とさらなる連携を図ってまいります。

第7は、持続可能な行政運営ができているまちづくりであります。

～限られた行政資源を有効活用できているまちづくり～

公共施設については、今後、多くの施設において更新等が必要となることから、前年度改訂されました公共施設等総合管理計画にもとづき、財源なども考慮する中、計画的に整備を推進してまいります。

入札制度については、入札及び契約過程の公平性、公正性及び透明性を担保し、競争性の確保及び向上を図ることを目的に、令和4年度より新たな入札制度で運用を行っていますが、より一層の透明性の向上、公正な競争の促進を図られるよう郵便入札の導入検討など、引き続き、制度改革を推進してまいります。

効率的な行政運営の推進については、文書管理システムや電子決済システムの導入を推進し、ペーパーレス、はんこレスを図る中、経費の削減を図ってまいります。また、4月には組織機構の改革を図るなど、引き続き、住民サービスの向上を図りながら、効率的で効果的な行政運営に努めてまいります。

また、限られた財源を最大限に活用するため、施策の優先度・緊急度、事業効果などの検証を行い、効果的、計画的なまちづくりを推進してまいります。

D X推進については、議会において、町政の両輪として、住民の負託に responding いくために、タブレット端末の導入など、デジタル技術を活用し、時代に即した議会への取り組みを検討されております。

町としましても、昨年度、各種イベントなどの申し込みの電子化を図ったところであり、引き続き、利用の拡大、また「デジタル田園都市国家構想交付金」の活用も図りながら、利便性と満足度向上につながるような住民サービスの提供をめざしてまいります。

町税・各保険料については、各課の徴収・収納事務を一元化することにより、効率的な業務を推進してまいります。また、税・保険料の適正な執行のために、引き続き大阪府域地方税徴収機構へ参加し、滞納整理を進めてまいります。

ふるさと忠岡応援寄附金については、返礼品事業者の新規開拓や伴走支援、各ポータルサイトへの効果的な広告宣伝などを強化し、地場産業の振興・発展、並びに地域活性化と寄附金額の増加による行財政の強化・充実を図ってまいります。

広域連携では、昨年10月に締結した高石市、泉大津市、忠岡町の二市一町広域連携協定に基づき、広報紙での広域連携企画や福祉バスの相互利用などが実施されたところです。引き続き、持続可能なまちづくりと住民サービスの拡充を図るための事業連携につい

て模索してまいります。

官学連携では、包括連携を締結している羽衣国際大学とSNSなどを活用し、広報などの活動への参加を通じて、町の魅力を発信してまいりたいと考えております。

泉州地域活性化については、引き続き、泉州9市4町をはじめ、大阪府、関西国際空港、民間企業と連携して、観光事業等のプラットフォームとなるKIX泉州ツーリズムビューローに参画してまいります。

～柔軟な体制をとれているまちづくり～

多様化する住民ニーズに的確に対応できるよう、先進的な行政手法の習得や幅広い視野の形成に向けた研修等を通じて、職員の意識改革を図るための取り組みを行ってまいります。

近年、就職希望先として公務員人気は低下し続けており、人材の確保は喫緊の課題であります。とりわけ、専門職の確保につきましては、大変厳しい状況です。

このような中、二市一町連携協定にもとづいて、泉大津市、高石市と連携し、より効果的な人材確保・運用方法を検討してまいります。

また、人材育成の面において、引き続き大阪府へ本町職員を研修生として派遣し、より一層の職務遂行能力の向上を図ってまいります。

以上、令和6年度にむけて、町政運営に関する私の基本的な考え方と主要な施策について、その概要をご説明申し上げます。

今後、これらの実施にあたりましては、議会との連携も一層密にしながら進めてまいります。

結びにあたり、私は、住民皆様が安全に安心して暮らせる施策につきましては、常に危機意識をもって推進を図るとともに、持続可能な「つながる つどう 人を育む 日本一小さなまち ただおか」を目標に、住民一人ひとりの夢や思いを尊重し、住民の目線に立ちながら「スピード」感をもって、「決断」し、「実行」することが、これまで以上に求められているとの思いをもって、「誰もが幸せを実感できる ただおか」を創るための施策推進に、全力を傾注してまいります。

議員各位並びに住民の皆様におかれましては、町政の推進に一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の施政の方針といたします。

令和6年2月27日、忠岡町長、杉原健士。

ご清聴ありがとうございました。

議長（北村 孝議員）

議事の都合により暫時休憩をいたします。

なお、11時から再開いたします。休憩いたします。

（「午前10時49分」休憩）

議長（北村 孝議員）

休憩前に引き続き会議を再開いたします。

（「午前11時00分」再開）

（出席議員及び議事参与員休憩前に同じ）

議長（北村 孝議員）

日程第5 議案第1号 町道路線の認定についてを、議題といたします。

議長（北村 孝議員）

本件について、提案理由の説明を求めます。

町長（杉原 健士町長）

議長。

議長（北村 孝議員）

町長。

町長（杉原 健士町長）

議案第1号、町道路線の認定につきまして、ご説明申し上げます。

本件は、都市計画法第29条に基づく開発行為の許可により築造された道路で、本町に帰属された1路線（馬瀬42号線）を町道として認定いたしたく、道路法第8条第2項の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

どうぞ、よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

議長（北村 孝議員）

提案理由は、以上のとおりです。

ご質疑をお受けいたします。ご質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

質疑がないようですので、質疑を終結いたします。

議長（北村 孝議員）

お諮りいたします。

本件は、会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略して、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

異議ないものと認め、委員会付託を省略することに決定をいたしました。

議長（北村 孝議員）

これより、討論に入ります。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

議長(北村 孝議員)

ないようですので、討論を終結いたします。

議長(北村 孝議員)

これより、議案第1号 町道路線の認定についてを採決いたします。
原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(北村 孝議員)

異議ないものと認め、本件は、原案のとおり可決することに決定をいたしました。

議長(北村 孝議員)

日程第6 議案第2号 専決処分の承認を求めることについて(令和5年度忠岡町一般会計補正予算(第6号))を、議題といたします。

議長(北村 孝議員)

本件について、提案理由の説明を求めます。

町長(杉原 健士町長)

議長。

議長(北村 孝議員)

杉原町長。

町長(杉原 健士町長)

議案第2号、専決処分の承認を求めることにつきまして、ご説明申し上げます。

今般、専決処分いたしましたのは、令和5年度忠岡町一般会計補正予算(第6号)で、1月23日付けをもって処分した次第であります。

今回の補正予算額は、330万7,000円の追加で、これを補正することにより、予算総額は93億1,466万8,000円となります。

歳入につきましては、第14款 国庫支出金で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の計上、歳出につきましては、第2款 総務費で、福祉サービス事業者食材費高騰対策支援金及びそれに係る事務経費の計上であります。

どうぞ、よろしくご承認のほど、お願い申し上げます。

議長(北村 孝議員)

提案理由は、以上のとおりです。

ご質疑をお受けいたします。ご質疑ございませんか。

5番(二家本英生議員)

議長。

議長(北村 孝議員)

二家本議員。

5 番（二家本英生議員）

この議案第 2 号について質疑をいたします。

この補正予算については物価高騰の対策としての支援金ということで、福祉事業所に対して、食費の高騰に対して給食費を提供しているところに支援するという補正予算であります。

質疑いたしますが、まずこのメニューをなぜ選ばれたのかというのをまずお伺いしたいと思います。公室長のほう、よろしくをお願いします。

町長公室（立花 武彦公室長）

議長。

議長（北村 孝議員）

立花公室長。

町長公室（立花 武彦公室長）

メニューもたくさんあるんですけども、原課で町内にいろいろな意見を頂きまして、その中で金額が、残額が少なかったという理由もありますし、期間がですね、年度内、3 月までに終わらなければいけないということもありましたので、その部分で福祉事業所の食材費に充てるということで決定したところでございます。

5 番（二家本英生議員）

議長。

議長（北村 孝議員）

二家本議員。

5 番（二家本英生議員）

分かりました。食材費の高騰について、やっぱり福祉事業所だけではなくて普通の飲食店もかなり影響があると思います。そういったところの支援金ということも考えていただけたらよかったかなと思います。

続きまして、この実際の中身について質疑いたします。今回、この食料高騰の支援ということで、事前に聞いた話では 33 事業に対して支援金、各事業所に 10 万ずつ配布するということを聞いています。今、昨日聞いた段階では、そのうち 20 事業所がもうこの申請をしているということをお伺いしています。その中ではやっぱり各事業所によって、まず、食料の提供している数が違うというのがまず 1 つ、それとあと、その点でこの一律 10 万円というのは、その数によって不公平感が出るのではないかというのがまず質問の 1 つ。

そして、今回、この食料の高騰ということによって、そういうことで支援金するわけですから、本当に食料品として、食料の高騰対策として使われているかどうかの、そのチェック体制についてお伺いしたいと思います。

健康福祉部（泉元 喜則部長）

議長。

議長（北村 孝議員）

泉元部長。

健康福祉部（泉元 喜則部長）

まず、事業の不公平感ということですが、今回はスピード感をもってするという事に徹していますので、事業所当たり一律10万円ということで、スピード感をもって給付するという考えを持っています。

あと、次に、今回の食費高騰の分ですけれども、食材価格の高騰の長期化を踏まえまして、町内に所在する福祉サービスを提供する事業所のうち、食事の提供の事業所に対して、その経済的な負担軽減を図ることで安定したサービスを提供できるよう継続、安定したサービス提供を継続できるよう実施するものであります。

また、その食事の内容につきましては、費用の高騰や食事の内容が悪くならないように、今後とも新規の交付の事業者に対しましては、何かございましたら必要な報告を求めたりであるとか、また調査等をさせていただく予定としております。

以上でございます。

5番（二家本英生議員）

議長。

議長（北村 孝議員）

二家本議員。3回目になります。

5番（二家本英生議員）

内容のほうは分かりました。公平性について、やっぱりスピード感をもってということだったんですけども、やっぱり今回の募集が、2月7日にホームページに掲載されて、締切りが2月29日と、わずか1か月足らずということなので、この交付金を年度内に使わないといけないということで、本当に急を要するという形でやられたところもあるので、ちょっと公平性については、サービス内容によっては5食しか使わないところとか、あと20食使うところもあると思います。公平性についてはちょっとどうかなと思いました。

あと、サービスじゃなくてチェック体制なんですけども、交付要綱も見てますけども、その中で、もし何かあった場合にチェックするということも書いています。これをきちんとやっていけるかどうか確認だけしたいんで、もう一度答弁のほう、よろしく願います。

健康福祉部（泉元 喜則部長）

議長。

議長（北村 孝議員）

泉元部長。

健康福祉部（泉元 喜則部長）

この要綱の中には支援金交付事業に係る収入及び支出を明らかにした帳簿及び書類を備え、これを整理しておくものとするということでもございますし、保存期限を5年間ということで規定しております。そういったことで、実際にいろいろ事業者さん、利用者さんからの情報を得まして、そういった不正に使われているようなことがありましたら、きちっと確認してまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

議長（北村 孝議員）

他に、ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

質疑がないようですので、質疑を終結いたします。

議長（北村 孝議員）

お諮りいたします。

本件は、会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略して、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

異議ないものと認め、委員会付託を省略することに決定をいたしました。

議長（北村 孝議員）

これより、討論に入ります。

討論、ありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

ないようですので、討論を終結いたします。

議長（北村 孝議員）

これより、議案第2号 専決処分の承認を認めることについて（令和5年度忠岡町一般会計補正予算（第6号））を、採決いたします。

原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

異議ないものと認め、本件は、原案のとおり承認することに決定をいたしました。

議長（北村 孝議員）

日程第7 議案第3号 忠岡町教育委員会委員の任命についてを、議題といたします。

議長（北村 孝議員）

本件について、提案理由の説明を求めます。

町長（杉原 健士町長）

議長。

議長（北村 孝議員）

杉原町長。

町長（杉原 健士町長）

議案第3号、忠岡町教育委員会委員の任命につきまして、ご説明申し上げます。

本町教育委員会委員 谷野しづこ氏は、令和6年3月31日をもって任期満了となりますので、引き続き、同氏を任命いたしたく、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意を求めるものでございます。

同氏は、人格、識見ともに優れ、適任者と思われまますので、ご賛同賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

議長（北村 孝議員）

提案理由は、以上のとおりでございます。

ご質疑をお受けいたします。ご質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

ご質疑がないようですので、質疑を終結いたします。

議長（北村 孝議員）

お諮りいたします。

本件は、会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略して、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

異議ないものと認め、委員会付託を省略することに決定をいたしました。

議長（北村 孝議員）

これより、討論に入ります。

討論、ありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

ないようですので、討論を終結いたします。

議長（北村 孝議員）

これより、議案第3号 忠岡町教育委員会委員の任命についてを、採決いたします。原案のとおり同意することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

異議ないものと認め、本件は、原案のとおり同意することに決定をいたしました。

議長（北村 孝議員）

日程第8 議案第4号 忠岡町固定資産評価審査委員会委員の選任についてを、議題といたします。

議長（北村 孝議員）

本件について、提案理由の説明を求めます。

町長（杉原 健士町長）

議長。

議長（北村 孝議員）

杉原町長。

町長（杉原 健士町長）

議案第4号、忠岡町固定資産評価審査委員会委員の選任につきまして、ご説明申し上げます。

本町固定資産評価審査委員会委員 前川功勝氏は、令和6年3月25日をもって任期満了となりますので、引き続き、同委員に選任いたしたく、地方税法第423条第3項の規定により、議会の同意を求めるものでございます。

同氏は、人格、識見ともに優れ、適任者と思われまますので、ご賛同賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

議長（北村 孝議員）

提案理由は、以上のとおりです。

ご質疑をお受けいたします。ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

ご質疑ないようですので、質疑を終結いたします。

議長（北村 孝議員）

お諮りいたします。

本件は、会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略して、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

異議ないものと認め、委員会付託を省略することに決定をいたしました。

議長（北村 孝議員）

これより、討論に入ります。

討論、ありませんか。

(「なし」の声あり)

議長(北村 孝議員)

ないようですので、討論を終結いたします。

議長(北村 孝議員)

これより、議案第4号 忠岡町固定資産評価審査委員会委員の選任について原案のとおり同意することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(北村 孝議員)

異議ないものと認め、本件は、原案のとおり同意することに、決定をいたしました。

議長(北村 孝議員)

日程第9 議案第5号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてを、議題といたします。

議長(北村 孝議員)

本件について、提案理由の説明を求めます。

町長(杉原 健士町長)

議長。

議長(北村 孝議員)

町長。

町長(杉原 健士町長)

議案第5号、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることにつきまして、ご説明申し上げます。

人権擁護委員 正木啓史氏は、令和6年6月30日をもって任期満了となりますので、引き続き、同氏を推薦いたしたく、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を求めるものでございます。

同氏は、人格、識見ともに優れ、広く社会実情に精通し、適任者と思われまますので、よろしくお願い申し上げます。

議長(北村 孝議員)

提案理由は、以上のとおりです。

ご質疑をお受けいたします。ご質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

議長(北村 孝議員)

ご質疑ないようですので、質疑を終結いたします。

議長(北村 孝議員)

お諮りいたします。

本件は、会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略して、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(北村 孝議員)

異議ないものと認め、委員会付託を省略することに決定をいたしました。

議長(北村 孝議員)

これより、討論に入ります。

討論、ありませんか。

(「なし」の声あり)

議長(北村 孝議員)

ないようですので、討論を終結いたします。

議長(北村 孝議員)

これより、議案第5号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて、原案のとおり同意することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(北村 孝議員)

異議ないものと認め、本件は、原案のとおり同意することに、決定をいたしました。

議長(北村 孝議員)

日程第10 議案第6号 手数料条例の一部改正についてを、議題といたします。

議長(北村 孝議員)

本件について、提案理由の説明を求めます。

町長(杉原 健士町長)

議長。

議長(北村 孝議員)

杉原町長。

町長(杉原 健士町長)

議案第6号、手数料条例の一部改正につきまして、ご説明申し上げます。

本件は、地方公共団体の手数料の標準に関する政令の改正に伴い、高圧ガス保安法に基づく製造の許可申請に対する審査手数料について、既に液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律の許可を取得しているLPガスの運搬車に限り、処理容積によらず一律6,000円とするため、所要の改正を行うものでございます。

どうぞ、よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

議長(北村 孝議員)

提案理由は、以上のとおりです。

これより大綱的質疑をお受けいたします。ご質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

議長(北村 孝議員)

質疑なしと認めます。これで大綱的質疑を終わります。

議案第6号 手数料条例の一部改正については、会議規則第39条第1項の規定により、総務事業常任委員会に付託をいたします。

議長(北村 孝議員)

日程第11 議案第7号 忠岡町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正についてを、議題といたします。

議長(北村 孝議員)

本件について、提案理由の説明を求めます。

町長(杉原 健士町長)

議長。

議長(北村 孝議員)

町長。

町長(杉原 健士町長)

議案第7号、忠岡町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正につきまして、ご説明申し上げます。

本件は、児童福祉法第34条の8の2による内閣府令で定める基準に準じ、放課後児童健全育成事業者において、利用者の安全の確保を図るべく、安全に関する事項についての計画を策定することを義務付けるため、所要の改正を行うものでございます。

どうぞ、よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

議長(北村 孝議員)

提案理由は、以上のとおりです。

これより大綱的質疑をお受けいたします。ご質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

議長(北村 孝議員)

質疑なしと認めます。これで大綱的質疑を終わります。

議案第7号 忠岡町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正については、会議規則第39条第1項の規定により、福祉文教常任委員会に付託をいたします。

議長(北村 孝議員)

日程第12 議案第8号 忠岡町町民運動場等設置及び管理条例の一部改正についてを、議題といたします。

議長（北村 孝議員）

本件について、提案理由の説明を求めます。

町長（杉原 健士町長）

議長。

議長（北村 孝議員）

町長。

町長（杉原 健士町長）

議案第8号、忠岡町町民運動場等設置及び管理条例の一部改正につきまして、ご説明申し上げます。

本件は、東区ふれあい広場及び北区チビッコ広場の設置及び管理について、地方自治法第244条の2の規定により、条例で定めるため、所要の改正を行うものでございます。

どうぞ、よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

議長（北村 孝議員）

提案理由は、以上のとおりです。

これより大綱的質疑をお受けいたします。ご質疑ございませんか。

6番（是枝 綾子議員）

議長。

議長（北村 孝議員）

是枝議員。

6番（是枝 綾子議員）

この条例の一部改正は、東区のふれあい広場と北区チビッコ広場という、子どもの広場の管理規定で管理をしているという、子どものための広場であります。それが規定において定めていたものを条例化しないといけないということということで、条例化ということではありますが、なぜか町民運動場の、そちらのほうの、まあ言ったら大人が使うそういった運動場の管理条例の中に入れるという、そういう条例改正なんですけど、規定から、規定において定めていたものを条例化するというのであれば、なぜ子どもの広場のそういった条例というものに条例化しなかったのかということについてお聞きしたいと思います。

議長（北村 孝議員）

二重部長。

教育部（二重 幸生部長）

本来、公共施設という部分に関しましては条例において定めるものというふうになっておりますので、今回、規定のほうを廃止しまして運動場の条例のほうに掲載したということなんですけども、確かに名前ではふれあい広場、チビッコ広場という形にはなっており

ますが、今回、教育委員会のほうでもともと管理をしておった2つの施設に関しまして、町民運動場の条例のほうに加えたということでございますので、ご理解いただけたらと思います。

6番（是枝 綾子議員）

議長。

議長（北村 孝議員）

是枝議員。

6番（是枝 綾子議員）

お聞きしたことについてお答えいただいてないんですが、この規定、管理規定で管理していたものは、子どもの安全のための、安心して遊べる場所という、そういう目的ですね。目的がそうなんです。この2つしかありませんけれども、条例化するとか、それを条例化するというのが本来であろうかと、目的からしたら。しかし、そうせずに、町民運動場等いろいろ、公園ですね。そちらは子どものための公園ということではなく、町民の健康増進のためとかいうふうに目的に書いてあります。その設置目的はですね。そういったところに入れると、子どものための安全で遊べる公園というものではなく、目的が全体の町民の健康増進、そういったところ、そういった公共施設の中に入れてしまうということなので、ちょっと目的が違うのではないかと、ですね。

管理しやすいからということで一緒にしはったと思うんですけども、それは本来のこの規定で管理してたのを条例化しないといけないというふうなルールにもね、そうなるということやから、そしたらなぜこのチビッコ広場とふれあい広場ね、この2つのこれをそのまま条例化しなかったのかということをお聞きしてるんです。なぜこっちをそのまま条例化しなかったのかということ。こっちに入れたというのは管理しやすいからということやと思いますけど、なぜそのまま条例化しなかったのかという、そっちのほうの理由をちょっとお聞きしてるんです。

議長（北村 孝議員）

二重部長。

教育部（二重 幸生部長）

現実的に子どもだけが使用している場所ではないというふうに我々、認識しておりますので、今回もともとあります町民運動場の設置条例のほうに加えさせていただいたというふうに考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

議長（北村 孝議員）

よろしいですか。

6番（是枝 綾子議員）

いや、よろしくない。

議長（北村 孝議員）

是枝議員。

6 番（是枝 綾子議員）

全然理由にはなっていないし、あと、この町民運動場設置及び管理条例は貸出し対象というふうには、ところが対象になっているということなので、この貸出し対象になっていない、一般にそんなに貸出し対象になってない東区のふれあい広場や北区のチビッコ広場の、子どものためのところは、貸出し対象から除くというのをわざわざ書いてあるわけですね、ここにね。ということで、そういう子どものための施設をちゃんと管理していくという姿勢が見られないなというふうに思いましたので、これはちょっと委員会付託もされますので、質疑はここまでにしておきますけれども、なぜ、この疑問は晴れておりません。私のなぜそのまま条例化しなかったのかという疑問はちょっと晴れなかったなということは、意見として申し上げておきます。

議長（北村 孝議員）

他に、ご質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

質疑なしと認めます。これで大綱的質疑を終わります。

議案第 8 号 忠岡町町民運動場等設置及び管理条例の一部改正については、会議規則第 39 条第 1 項の規定により、福祉文教常任委員会に付託をいたします。

議長（北村 孝議員）

日程第 13 議案第 9 号 忠岡町地区集会所管理条例の一部改正についてを、議題といたします。

議長（北村 孝議員）

本件について、提案理由の説明を求めます。

町長（杉原 健士町長）

議長。

議長（北村 孝議員）

町長。

町長（杉原 健士町長）

議案第 9 号、忠岡町地区集会所管理条例の一部改正につきまして、ご説明申し上げます。

本件は、新浜集会所について、施設の老朽化により除却することになったことに伴い、同施設の規定を削除するため、所要の改正を行うものでございます。

どうぞ、よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

議長（北村 孝議員）

提案理由は、以上のとおりです。

これより大綱的質疑をお受けいたします。ご質疑ございませんか。

勝元議員。

1 1 番（勝元由佳子議員）

1 点だけ確認させていただきます。これ、条例改正でこの新浜集会所の規定を削除ということですが、これは解体撤去するという認識でよろしいのでしょうか。

町長公室（明松 隆雄次長兼企画人権課長）

議長。

委員長（前川和也議員）

明松公室次長。

町長公室（明松 隆雄次長兼企画人権課長）

議員仰せのとおり解体撤去になってございます。

1 1 番（勝元由佳子議員）

あとは委員会で。

議長（北村 孝議員）

他に、ご質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

質疑なしと認めます。これで大綱的質疑を終わります。

議案第 9 号 忠岡町地区集会所管理条例の一部改正については、会議規則第 3 9 条第 1 項の規定により、総務事業常任委員会に付託をいたします。

議長（北村 孝議員）

日程第 1 4 議案第 1 0 号 忠岡町霊園条例の一部改正についてを、議題といたします。

議長（北村 孝議員）

本件について、提案理由の説明を求めます。

町長（杉原 健士町長）

議長。

議長（北村 孝議員）

町長。

町長（杉原 健士町長）

議案第 1 0 号、忠岡町霊園条例の一部改正につきまして、ご説明申し上げます。

本件は、浜霊園の管理料について、今後使用者の減少や施設の老朽化による修繕が必要となること、また、近隣市町に比べ低額であることから見直しを行い、年額 5 0 0 円から

年額1,000円に改定するため、所要の改正を行うものでございます。

どうぞ、よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

議長（北村 孝議員）

提案理由は、以上のとおりです。

これより大綱的質疑をお受けいたします。ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

質疑なしと認めます。これで大綱的質疑を終わります。

議案第10号 忠岡町霊園条例の一部改正については、会議規則第39条第1項の規定により、総務事業常任委員会に付託をいたします。

議長（北村 孝議員）

日程第15 議案第11号 忠岡町介護保険条例の一部改正についてを、議題といたします。

議長（北村 孝議員）

本件の提案理由の説明を求めます。

町長（杉原 健士町長）

はい。

議長（北村 孝議員）

杉原町長。

町長（杉原 健士町長）

議案第11号、忠岡町介護保険条例の一部改正につきまして、ご説明申し上げます。

本件は、介護保険法施行令及び介護保険法施行規則の改正により、第1号介護保険料の多段階化等に伴う所要の改正に準じ、令和6年度から令和8年度までの、第9期介護保険事業計画における、介護給付費等に要する第1号被保険者の保険料の額を改定するため、所要の改正を行うものでございます。

どうぞ、よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

議長（北村 孝議員）

提案理由は、以上のとおりです。

これより大綱的質疑をお受けいたします。ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

質疑なしと認めます。これで大綱的質疑を終わります。

議案第11号 忠岡町介護保険条例の一部改正については、会議規則第39条第1項の規定により、福祉文教常任委員会に付託をいたします。

議長（北村 孝議員）

日程第16 議案第12号 令和5年度忠岡町一般会計補正予算（第7号）についてを、議題といたします。

議長（北村 孝議員）

本件について、提案理由の説明を求めます。

町長（杉原 健士町長）

はい。

議長（北村 孝議員）

町長。

町長（杉原 健士町長）

議案第12号、令和5年度忠岡町一般会計補正予算（第7号）につきまして、ご説明申し上げます。

今回の補正予算額は、1億1,081万1,000円の追加で、これを補正することにより、予算総額は94億2,547万9,000円となります。

歳入につきましては、第10款 地方交付税で、普通交付税の計上、第14款 国庫支出金で、自立支援給付事業負担金の計上、第15款 府支出金で、自立支援給付事業負担金の計上、重度訪問介護等利用促進支援事業費補助金の計上、第18款 繰入金で、財政調整基金繰入金の増額、第20款 諸収入で、消防賞じゅつ金等受入金の計上。

次に、歳出につきましては、第2款 総務費で、退職手当の計上、財政調整基金積立金の計上、愛の福祉基金積立金の計上、第3款 民生費で、障害者相談事業等委託料の計上、介護給付・訓練等給付費の計上、第9款 消防費で、消防団員退職報償金の計上であります。

どうぞ、よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

議長（北村 孝議員）

提案理由は、以上のとおりです。

これより大綱的質疑をお受けいたします。ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

質疑なしと認めます。これで大綱的質疑を終わります。

議案第12号 令和5年度忠岡町一般会計補正予算（第7号）については、会議規則第39条第1項の規定により、総務事業、福祉文教の各常任委員会に付託をいたします。

議長（北村 孝議員）

日程第17 議案第13号 令和5年度忠岡町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算

(第2号)についてを、議題といたします。

本件について、提案理由の説明を求めます。

町長（杉原 健士町長）

議長。

議長（北村 孝議員）

町長。

町長（杉原 健士町長）

議案第13号、令和5年度忠岡町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）につきまして、ご説明申し上げます。

今回の補正予算額は、歳入予算の財源更正であるため、予算総額に変更はございません。

歳入につきましては、第1款 国民健康保険料で、一般被保険者国民健康保険料の、基礎賦課分現年分、後期高齢者支援金分現年分及び介護納付金分現年分の減額、第6款 繰入金で、国民健康保険事業財政調整基金繰入金の計上であります。

どうぞ、よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

議長（北村 孝議員）

提案理由は、以上のとおりです。

これより大綱的質疑をお受けいたします。ご質疑ございませんか。

6番（是枝 綾子議員）

議長。

議長（北村 孝議員）

是枝議員。

6番（是枝 綾子議員）

そもそもこの議案が出てきたという財源更正ということでもありますけれども、これはなぜこういうことが起きたのかという説明がありませんでしたので、説明を求めたいと思います。

健康福祉部（泉元 喜則部長）

議長。

議長（北村 孝議員）

泉元部長。

健康福祉部（泉元 喜則部長）

今回の補正は、国民健康保険料の収入不足がございましたので、財政調整基金の繰入金を行い財源更正を行うものでございます。よろしくお願いたします。

議長（北村 孝議員）

是枝議員。

6 番（是枝 綾子議員）

収入不足が起きたから、保険料を引き下げるためには絶対使わないと言っていた財政調整基金を取り崩したという、収入不足というその原因の責任は忠岡町のほうにあるということだからでしょうか。

議長（北村 孝議員）

泉元部長。

健康福祉部（泉元 喜則部長）

今回の収入不足につきましては、それぞれ、加入者の減であるとか所得の減とかございますので、そういったこと、所得の減等がございますので、そういった減がございましたので収入減になった次第でございます。

6 番（是枝 綾子議員）

はい。

議長（北村 孝議員）

是枝議員。

6 番（是枝 綾子議員）

これについては委員会付託があるということですので、その中身については詳しくしていきたいと思っておりますけれども、財政調整基金を取り崩したということでもありますので、こういったことが起きる以前といいますかね、そもそもの見込み違いというところがあったということで、それはほかの保険料の算定にも大きく影響しているということであるかと思っておりますので、これは大綱的質疑ですので、これにとどめておきたいと思っております。

議長（北村 孝議員）

他に、ご質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

質疑なしと認めます。これで大綱的質疑を終わります。

議案第 13 号 令和 5 年度忠岡町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第 2 号）については、会議規則第 39 条第 1 項の規定により、福祉文教常任委員会に付託をいたします。

議長（北村 孝議員）

日程第 18 議案第 14 号 令和 5 年度忠岡町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）についてを、議題といたします。

本件について、提案理由の説明を求めます。

町長（杉原 健士町長）

議長。

議長（北村 孝議員）

杉原町長。

町長（杉原 健士町長）

議案第14号、令和5年度忠岡町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）につきまして、ご説明申し上げます。

今回の補正予算額は、1,952万4,000円の追加で、これを補正することにより、予算総額は5億5,623万7,000円となります。

歳入につきましては、第1款 後期高齢者医療保険料で、特別徴収保険料及び普通徴収保険料の計上であります。

歳出につきましては、第2款 後期高齢者医療広域連合納付金であり、後期高齢者医療保険料等納付金の計上であります。

どうぞ、よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

議長（北村 孝議員）

提案理由は、以上のとおりです。

これより大綱的質疑をお受けいたします。ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

質疑なしと認めます。これで大綱的質疑を終わります。

議案第14号 令和5年度忠岡町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）については、会議規則第39条第1項の規定により、福祉文教常任委員会に付託をいたします。

議長（北村 孝議員）

日程第19 議案第15号 令和6年度忠岡町一般会計予算について、日程第20 議案第16号 令和6年度忠岡町国民健康保険事業勘定特別会計予算について、日程第21 議案第17号 令和6年度忠岡町介護保険特別会計予算について、日程第22 議案第18号 令和6年度忠岡町後期高齢者医療特別会計予算について、日程第23 議案第19号 令和6年度忠岡町下水道事業会計予算について、以上、5件一括して議題といたします。

本5件については、先例により、提案理由の説明は既に配布されておりますので、会議規則第39条第3項の規定により、省略をいたします。

議長（北村 孝議員）

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

異議ないものと認め、省略することに決定をいたしました。

議長（北村 孝議員）

お諮りいたします。

本5件については、先例により、6名の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査をお願いいたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

異議ないものと認めます。

よって、本件は6名の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定をいたしました。

議長（北村 孝議員）

お諮りいたします。

ただいま設置されました予算審査特別委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第6条第1項の規定により、議長の指名といたします。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

異議ないものと認め、私から指名をいたします。

今奈良幸子議員・小島みゆき議員・是枝綾子議員・三宅良矢議員・前川和也議員・河野隆子議員。

以上の6名を予算審査特別委員会委員に選任することに決定をいたしました。

また、私もオブザーバーとして委員会に出席をいたします。

本件に係る審査の結果については、今期定例会の最終日をお願いいたします。

議長（北村 孝議員）

議事の都合により暫時休憩をいたします。

11時45分から再開をいたします。

（「午前11時39分」休憩）

議長（北村 孝議員）

休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

（「午前11時45分」再開）

（出席議員及び議事参与員休憩前に同じ）

議長（北村 孝議員）

ご報告いたします。

委員会条例第7条第2項の規定により、予算審査特別委員会委員長に河野隆子議員、副委員長に小島みゆき議員が決定いたしましたので、ご報告をいたします。

議長（北村 孝議員）

日程第24 報告第1号 事務報告について（令和5年分）を、議題といたします。

議長（北村 孝議員）

本件について、提案理由の説明を求めます。

町長（杉原 健士町長）

議長。

議長（北村 孝議員）

町長。

町長（杉原 健士町長）

報告第1号 事務報告につきまして、ご説明申し上げます。

本件は、令和6年度一般会計及び各特別会計等の予算書の提出にあたり、地方自治法第122条の規定により、事務に関する説明書として、令和5年の事務報告を提出するものでございます。

どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

議長（北村 孝議員）

提案理由は、以上のとおりです。

ご質疑をお受けいたします。ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（北村 孝議員）

質疑がないようですので、報告第1号を終わります。

議長（北村 孝議員）

以上で本日の日程は終了いたしました。

本日はこれにて散会をいたします。

次回の会議は3月6日（水）午前10時より開きます。

本日は大変ご苦労さまでございました。

（「午前11時46分」散会）